

様式第 3

会 議 録

会 議 名	令和元年度 第 1 回野田市消防委員会
議題及び議題毎の 公開又は非公開の別	1 委員長及び副委員長の選出（公開） 2 消防概況について（報告）（公開） 3 消防の課題について（公開） 4 消防組織検討会について（公開） 5 今後の流れについて（公開）
日 時	令和元年 8 月 1 6 日（金） 午前 1 0 時から正午まで
場 所	市役所高層棟 8 階 大会議室
出席者氏名	委 員 長 隈本邦彦 副委員長 関根和弘 委 員 員 染谷賢一、逆井健一、本田尚吾、深井芳人、 秋山咲智子、横山栄子、石原和子、古谷道 雄、安田守、菅野透、市川浩保、斉藤和実 事 務 局 鈴木有（市長）、今村繁（副市長）、太田義則 （次長兼消防署長）、宮田明（参事兼総務課長）、 中島正美（予防課長）、園田誠一（警防課長） 内藤浩幸（総務課長補佐）、秋山健治（総務課 庶務係長）、田村雄一（総務課庶務係主任主事）
欠席委員氏名	小張 力
傍 聴 者	無し
議 事	第 1 回野田市消防委員会の会議結果（概要）は、次の とおりである。
消防本部総務課長補佐	令和元年 8 月 1 6 日午前 1 0 時、開会を宣言し、会 議の成立について報告した。会議の公開及び傍聴並び に会議録及び会議資料の公開について説明した。 会議録作成のため録音機を使用することについて 了解を得た。 市長の挨拶を求める。

<p>市長 消防本部総務課長補佐</p>	<p><挨拶> 委嘱後、初めての委員会開催であるため、委員の紹介を行い、市の出席者並びに事務局の職員を紹介した。議事に当たり委員長を選出を行うため、仮議長を市長に依頼する。</p>
<p>市長 ・・・委員</p>	<p>野田市消防委員会条例第5条第2項の規定に基づき、委員の互選により委員長を選出するため、委員の意見を伺う。 隈本委員を推薦する。</p>
<p>市長 消防本部総務課長補佐 委員長 消防本部総務課長補佐 委員長</p>	<p><異議無しの声> 隈本委員に委員長を決定し、仮議長を降る。 委員長に挨拶を求める。 <挨拶> 議事進行を委員長に依頼する。</p>
<p>・・・委員</p>	<p>野田市消防委員会条例第5条第2項の規定に基づき、委員の互選により副委員長を選出するため、委員の意見を伺う。 関根委員を推薦する。</p>
<p>委員長 副委員長 委員長 消防本部総務課長</p>	<p><異議無しの声> 関根委員に副委員長を決定し、挨拶を求める。 <挨拶> 議題2 消防概況について（報告） 消防概況について（報告）の内容について、事務局に説明を求める。</p>
<p>委員長 ・・・委員</p>	<p><資料に基づき消防概況について（報告）の内容を説明> 消防概況について（報告）の内容について、質疑及び意見を求める。 消防職員の充足率が30年71.5%となっているが、100%が望ましいのか。</p>
<p>消防本部総務課長 ・・・委員</p>	<p>充足率とは、消防力の整備指針に基づいた、現有車両台数に対する必要人数で、消防台数が多めになっていることが原因となっている。目標値的なものとなっている。 補足になるが、関宿との合併により南北に細長い形状となり、救急体制を概ね5分以内とするため、北出</p>

<p>・・・委員</p> <p>警防課長</p> <p>委員長</p> <p>警防課長</p> <p>・・・委員</p> <p>委員長</p> <p>消防本部総務課長</p> <p>委員長</p> <p>・・・委員</p> <p>消防本部総務課長補佐</p> <p>・・・委員</p>	<p>張所を配置し、消防車両も増加したことが、要因となっている。</p> <p>車両台数が野田市は多めということか。</p> <p>車両の運用に支障を来すことはないか。</p> <p>職員が多忙となっていないか。</p> <p>指針同様の車両数で充足すべきでないか。車両が過剰なのか。</p> <p>国の整備指針に基づいたもので、27年のものが近々であり、目標値となっている。車両の台数は100%で人員が若干少なくなっているが、人員がいなくては駄目だというものでもない。</p> <p>目標であって、100%でなくてはいけないというものではないのか。周りの市の状況はどうか問う。</p> <p>近隣市も70～80%程度である。</p> <p>中央分署・北分署・関宿出張所は乗換運用であり、火事があれば火事、救急であれば救急の出場となる。消防車と救急車が同時に出場はできない。昔は救急件数が少なく対応できていた。近隣市では、兼務隊はない。</p> <p>充足率100%を消防として目指したいのか、運用でも十分なのか問う。</p> <p>100%になればより良いが、近隣市でも、平成24年度になるが、松戸市81.7%、流山市80.9%、船橋市76.1%、市川市72.1%、柏市72.4%、鎌ヶ谷市62.3%、野田市61.8%、浦安市59.8%、我孫子市59.2%となっている。</p> <p>近隣も同様なので、安心して下さいとのことですが、兼務を解いて専任にしたほうが良いのではないか。</p> <p>救急車を呼んでも、出場中で消防車が来てしまうこともある。救急件数が増えているので兼務隊を解いたほうが良い。</p> <p>重篤な患者や大きな交通事故の場合、消防車と救急車が同時に出場することもある。</p> <p>これは総務省の努力目標で、東京都以外の市町村で満たしているところはほとんどない。もちろん100%</p>
--	--

<p>委員長 副市長</p>	<p>は望ましいが、市町村の状況による。 ほかにあるか問う。 市民の安全・消防力は最優先と考えている。従前から常備消防は消防団との連携で機能しているとしていたが、消防団も人員不足が大きな課題となっている。救急出動についても、これで十分なのか再検証が必要な時期となっている。今年度4月に行政改革大綱が出来、消防職員の定数については、来年3月に見直すと考えている。今何名が必要か、しっかりと市民の安全が守れるように、消防団のことも考え定数条例の見直しを行い、消防委員会に説明ができるようにしたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>この委員会は消防業界の常識とは離れて市民の立場で意見を言う場であり、充足率については現状でいいと市民が納得するかという問題である。現在は運用で何とかなっているとのことだが、今後は、救急業務の増加でより難しい状況になる可能性がある。是非来年度に向け、検討をしていきたい。そのあたりにこの委員会開催の意味があると思う。消防当局としてもよく検討していただきたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>概況についてはこの辺でよろしいか問う。 ＜異議無しの声＞ 議題3 消防の課題について 消防の課題について、事務局に説明を求める。</p>
<p>消防本部総務課長 委員長</p>	<p>＜消防の課題について説明＞ 消防の課題について、質疑及び意見を求めた。 委員が思われている課題等を求めた。</p>
<p>・・・委員</p>	<p>在職中、非常備消防団員の確保には苦慮した。団員減は全国的で、活動にも地域差がある。昭和30年代は農業などが多く誰もが加入したが、都市部はサラリーマンで被雇用者となる。昔は義務とか名誉と捉えていた。更に高齢化もある。常備消防の充足率が低い地域では、大都市以外では消防団に頼らずにいられない。50年から常備消防率が高くなり、消防団への依存度が低くなった。資料にもあるが学生消防団、事業所の協力、女性団員の推進が必要となる。消防団員は地</p>

	<p>域密着であり、地元の水利を確保し対応できるものとする。団員は、心肺蘇生法やA E D使用を習得し、女性団員の加入促進と併せ重要である。消防車の装備は国庫補助を受けている、装備は地域にあったものが必要、団の意見を聴いたほうが良い、ポンプ操法は、これで良いのか、形を見直して実際に沿ったものとするべきと思う。</p>
<p>委員長</p>	<p>幾つかありましたが、主な課題の取組について、現在やっている、これから行うものを教えてほしい。</p>
<p>消防本部総務課長</p>	<p>説明したものは参考例であり、次の議題で説明する消防組織検討会で詳細に審議し、委員会に報告したい。</p>
<p>委員長</p>	<p>説明のあったものは、現実に考えられる課題であり、新たな取組をこれからやっていきたいものなのか。</p>
<p>・・・委員</p>	<p>補足ですが、新たな取組とは国からの通達に沿ったもので、現状として市の職員が消防団になっている状況や市議会でも消防団員O Bの活用の提案質問もできた。報酬の引上げも実施したが、下部組織である消防組織検討会で更に審議し、この委員会にフィードバックし、新たな課題を重点的に検討していただきたい。</p>
<p>・・・委員</p>	<p>総務省消防庁から平成 24 年 3 月に大規模災害発生時における消防本部における効果的な消防の在り方検討会で、阪神淡路でも言われたが、消防本部常備は救助よりも火を消すことを優先すると書かれ、家が倒れても常備消防は助けに行かないのが基本で、阪神淡路で表彰された北丹町は災害で即死した以外の人を全員救助した、それは消防団がどこにどのおじいちゃんいるか把握していた、地元の力を協力しなければ難しい。東日本では消防団員が 250 名以上殉職された、国はどこを目指しているのか、阪神淡路や東日本級では、消防団・市民の協力がないと、常備消防では間に合わない、その辺を目指しているのだろうが、目標値を設定しないとこの議論が成り立たないのが基本的な概念である。</p>
<p>委員長</p>	<p>ご指摘の点は、長年の課題であり、操法大会が市民</p>

<p>・・・委員</p> <p>委員長</p> <p>・・・委員</p>	<p>や団員の役に立っているのか、見直すとか、今までの慣例にとらわれず大胆に見直す検討をお願いしたい。</p> <p>私からの提案だが、まず、現実を知るということで、携帯会社が持っている個人情報のビックデータで、消防団員が昼間どこにいるか、朝、昼、夕方の各時間帯に野田市内に何人団員がいるのかを把握していただくことも必要ではないか。現実には昼間こんなに消防団員が少ないという事実を把握して、その実態からスタートして対策を考えたらと提案する。</p> <p>また、東日本大震災だけではなく西日本豪雨の時も具体的にうまく人の命が救えた地域は、地域と福祉、医療のつながりが出来ているところが多かった。実際に寝たきりの年寄りがどこにいるのか、消防、防災リーダーが把握しているか。西日本豪雨の時に総社市でアルミ工場が爆発した際には、近隣住民は死者ゼロだったが、それは地元消防・福祉・防災リーダーの連携が取れていて、要介護・要支援者が瞬時に分かるようになっていたからだった。そこで消防団と福祉の方とどういう連携を取るかを課題に加えてもらい。要介護・要支援者は社会福祉協議会等で分かると思う。いざという時に公的な救助を受けられないときの対応としても消防団と福祉の連携が必要な課題と、是非、入れていただきたいと思う。</p> <p>今の件だが、野田市の消防団では、要避難行動者約8600人について、各消防団の管轄区域にペーパーで渡し、鍵を掛け保管している。また、その要避難行動者は本人の承諾を得て配布している。</p> <p>個人情報があるので、本人の同意が必要となるが、いざとなったら助けに使うと、更に強化願えればと思う。</p> <p>自治会としては、そこまで手は回らないのが現実である。連合会理事会でも話題となり、個人情報保護の観点から、ほかマンパワーからとても無理である。私の所は、210名会員で高齢者・要介護者で40～50人となり、自治会の役員が5人では、その人たちを把握できるかということはとても無理で、もっと良い仕組み</p>
--------------------------------------	--

	<p>みを考えていただかないと現実的でない、確かに災害が起きた場合自治会が集まって住民が救われた例もあるが、古い地域で密であれば分かると思うが、とても把握できないのが実態である。自治会の立場から申し上げる。</p>
<p>・ ・ 委員</p>	<p>女性消防団員は何名いて、どのような活動しているのか。また、家のせがれが地域の消防団で、昼間は地元の人で対応しているが、消防団の加入のお願いに行ったら親御さんに断られたこともある、どのように働きかけたらよいか。</p>
<p>委員長 消防本部総務課長補佐</p>	<p>女性消防団の数と、加入活動ということだが。 現在野田市の女性消防団員は7名で、現在2名入団希望がある。女性消防団の活動は、普通救命講習会の指導員として、また、各イベントPRに参加している。</p>
<p>委員長</p>	<p>今後は、国からの通知に基づき、来年度以降の検討をし、なるべく新聞やニュースになるような活動をやっていたきたい。大学も市内にあるので消防団加入促進していただき、画期的な女性の参加や若い人の参加にトライしていただきたい。</p>
<p>副市長</p>	<p>何かほかにあるか。 先ほどの災害時での福祉との連携について、要支援者の支援は、自治会連合会との話合いの中でも課題となっている、要支援の現状は、手を挙げてきた人を要避難とし、かなり幅が広がってきており、なかなか現実的でない。福祉部でも、今後、要避難者の定義から見直して自治会とも、話合いをしていきたい。他団体を確認したところ、自治会に任せているところもあり、避難者の実態も分からないところもある。自治会長のアンケートでは引継ぎがうまくいってないところもあり、その辺を調整し、また、並行して消防との関係も協議していただきたいと思う。</p>
<p>委員長</p>	<p>自治会長さんは大変だなというのも分かるが、福祉に関して言えば、どういう方がどこにいるか情報はどこかにある。それを本人の情報を得て防災組織と共有するというような、自治会にお願いするよりも市にお願いすることはまずいのか。</p>

副市長	<p>制度的には、同意頂いた人は災害時に渡す形になっているが、ただ、災害時に急に渡されてもというのもあるので、その辺も含めて自治会の皆様と議論が必要である。</p>
委員長	<p>若干グレードがある、要支援避難者の方々に2・3人必要か、普段は車いすで活動している人は先に避難していただき、要支援、要介護によってグレードが変わるため、町内会長は2年位で変わってしまう、消防団が紙ベースで把握しているとのことなので、より極めの細かい協力を希望する。</p>
・・・委員	<p>分団員に要支援者の名簿を持っていくと、負担感が大きくなり集まらなくなる。地元においても勤めている人が多く、昔は農家なので家にいる人が多かったが、今はそうでない、昼間はいなくて夜はいる、災害の時は良いが、普段から名簿を渡されて地元のことを把握してくれとなると、ますますなる人が見つからない。</p>
・・・委員	<p>常総市の水害では、消防団が名簿を持って、消防団や自治会の人助けに行き、死亡者がゼロであった。平時のときに名簿を持つのは大変だろうが、そういった仕組み作りが必要だ。常備だけでは絶対無理なので、自治会の皆さんと消防団の協力なしではできない。</p>
副市長	<p>自治会の皆様をお願いするわけだが、今の原簿も私を助けてくださいと、手上げ方式であり、現実的にはすごく元気な方が名簿に載っているのも相当ある。自分で避難できる人は自分でしていただく、見極めができる様に、しっかり見直しを行い、消防団と自治会の連携もしていきたいと思う。とりあえず自治会との協議を進めさせていただきたい。</p>
委員長	<p>是非、グレードに従って、これは助けに行かなければいけない、自分で避難できるなどのグレード分けの努力をお願いする。</p> <p>課題についてはよろしいか問う。</p>
委員長	<p><異議無しの声></p> <p>議題（4）消防組織検討会について 消防組織検討会について、事務局の説明を求める。</p>

<p>消防本部総務課長 委員長</p>	<p><消防組織検討会について説明> 本委員会の下部組織として、具体的な検討をして提案をしてもらうための検討会の委員と会長・副会長を指名することについて御異議あるか問う。 <異議無しの声> 次の委員会では、この検討会の報告が出るということ。市民の目から見たことを反映して具体的な議論をしていただきたいと思います。次回を期待している。それでは、指名することとする。 次の議題に移ります。 議題（5）今後の流れについて 今後の流れについて、事務局の説明を求める。</p>
<p>消防本部総務課長 委員長 ・・・委員</p>	<p><今後の流れについてについて説明> 今の説明について、意見ありますか。 この課題というのは、課題を検討会に委ねることか。この委員会で課題を出して下部組織で検討するのではないかと思ったが。</p>
<p>委員長</p>	<p>その辺の認識はいかがですか。この委員から今出た課題を検討してもらえと思ったが、いかがか。</p>
<p>副市長</p>	<p>消防委員会は、市長の附属機関であり、市長がこれは課題だと認識して、それに対する解決策を答申していただきたい。この検討会はワーキンググループ的なもので、この委員会の意見を踏まえて情報を収集したりして、検討した結果を再度報告し、委員会にて審議いただき答申を頂く形になる。しかし最初は、次回、諮問させていただくが、まずは消防の課題というものの現場サイドがどのように感じているか認識しているか知りたいので、このワーキンググループの中で、今何が一番の課題なのかということをお聴いて、次回、諮問させていただき、諮問についても多岐にわたるので、一遍に諮問できないので優先的な課題について、随時、市長の方から諮問して、答申を頂きたいと思っております。もちろん今日頂いた課題についても諮問の参考にさせていただき、それを踏まえた上での諮問をしていきたいと考えている。</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは本委員会の議論を踏まえて、現状、現場の</p>

副市長	意見を合わせて、報告・答申を頂くとのことによろしいですか。
委員長 ・・・委員	委員会で審議いただき、委員会から答申を頂くことになります。 よろしいでしょうか。
委員長	確認ですが、資料がなければ後で教えていただきたいのですが、通報があってから救急車の到着時間の推移5年間、火災における覚知からの到着時間がどれくらいなのか。延びていると思うが、昔は年報に載っていたと思うが。また、女性の消防職員が5%以上と国から出ていると思うが、その辺の数字を教えてください。
委員長	今すぐに出ますか。女性の数は3人と資料に出ているが、5%にはない。
消防本部総務課長 委員長	女性職員は3名である。 増やす方策はあるか。
消防本部総務課長	到着時間について、5年間の推移は出るか。 5年間の推移については、次回委員会に提出させていただきます。
委員長 警防課長	延びてはいるんですか。 延びてることは事実です。
委員長	女性職員の登用については、消防に関わらず市役所全体でも実施しているか。
副市長	女性の登用は、市でも目標にしており、審議会できうと50%になっており、40%はクリアしてるが、職員の登用は遅れており、課長職は1人しかおらず、部長はいない、課長も10年ぶり、総務部としては女性のキャリアアップ等を実施しているが、なかなか登用が進んでないのが課題となっている。これは野田市の風土的に、女性に庶務的な仕事を任せ企画的な仕事を任せていないということが続いていたことが原因、採用の時から変えるよう努力しているところだが、時間が掛かる。最近、男性も含め管理職になりたくないという、難しいところが現実で、女性職員の登用は大きな課題と認識している。
委員長	これは、目標を定めて多少無理をしないとその方向

消防署長	にいかないと思うので、是非目標を定めていただきたい。
委員長	先ほどの、救急到着時間の平均 3 年間で報告したい。平成 28 年 6 分 17 秒、29 年 6 分 35 秒、30 年 6 分 54 秒となっています。
消防署長	平均で延びているとのことなので、火災はどうですか。
委員長	火災は手元に資料がない。
消防署長	いずれにしても、充足率を上げることは、救急要請が増えているので、是非、検討会でしっかり検討していただき、必要であれば市民の声として、車がしっかり動くように、今の現状を言っていただきたいと思う。
委員長	これで議題は、終了とします。
消防本部総務課長補佐	事務局から何かありますか。
委員長	会議録の公開について、本庁総務課から発言があることを伝える。
副市長	よろしいですか。
委員長	<異議無し>
副市長	市長・副市長、公務により退席することを伝える。
総務部総務課長補佐	<市長・副市長退席>
委員長	<会議資料等のホームページ掲載について、説明する。>
総務部総務課長補佐	項目が多いため、順を追ってとし、会議録について、改めて、説明を求める。
委員長	<会議録のホームページ掲載について、説明する。>
委員長	概要版としても、発言者の氏名を掲載するのか。
委員長	委員名を記載する場合や A・B 委員との記載もある。
委員長	この委員会は、公開で傍聴者もいる前提であるが、発言者の氏名を書いて全文公開か、あるいは発言者氏名を書いて概要版にするか、発言者を書かない概要版にするかということ。
委員長	発言者の氏名を書くか、A・Bにするか、会議録は、全文か、概要版かになる。
委員長	発言者の氏名を書くか、全文にするか、概要版にす

<p>総務部総務課長補佐 委員長</p>	<p>るか、委員の皆さまの多数決をお願いします。 <名前有りの全文記載について、無し> <名前有りの概要版について、5人> <名前なしの概要版、6人> 名前なしの概要版とします。発言者を・・・とし、発言者が分からないようにします。 発言者はA・Bではないか。</p>
<p>総務部総務課長補佐 委員長</p>	<p>A・Bではなく、委員名を記載しない概要版をホームページに記載することとする。 <会議資料及び諮問書・答申書をホームページ掲載について、説明する。> 掲載するとしてよろしいか問う。</p>
<p>総務部総務課長補佐 委員長</p>	<p><異議無し> 決定する。 <委員名簿をホームページ掲載について、説明する。> > 公表するということを問う。</p>
<p>総務部総務課長補佐 委員長</p>	<p><異議無し> 公表することで決定する。 公表する場合の名簿の形式について、所属、推薦団体を掲載することを問う。</p>
<p>総務部総務課長補佐 委員長</p>	<p><異議無し> 全て全面公開とする。 本日お配りした委員名簿の内容で良いか。 本日の委員名簿の内容を掲載することで良いか問う。</p>
<p>総務部総務課長補佐 委員長 消防本部総務課長 委員長</p>	<p><異議無し> この内容で掲載することで、決定とする。 総務課からは以上となる。 事務局からほかにあるか。 <次回の日程をお知らせする。> 日程は調整しますが、平日昼間でよろしいか問う。</p>
<p>消防本部総務課長 委員長</p>	<p><異議無し> 皆さんの日程調整を実施するか。 全員の調整は無理なので、委員長・市長の調整を行わせてもらう。</p>

<p>消防本部総務課長 委員長</p>	<p>調整がつかなく欠席の委員については、あらかじめ意見を頂くシステムを作っただき、会議の参考にさせていただこうとしたいが、できるか。 そのようにいたします。 委員の皆様から意見があるか問う。 <意見無し> 午後0時2分、閉会を宣言した。</p> <p>以上</p>
-------------------------	---